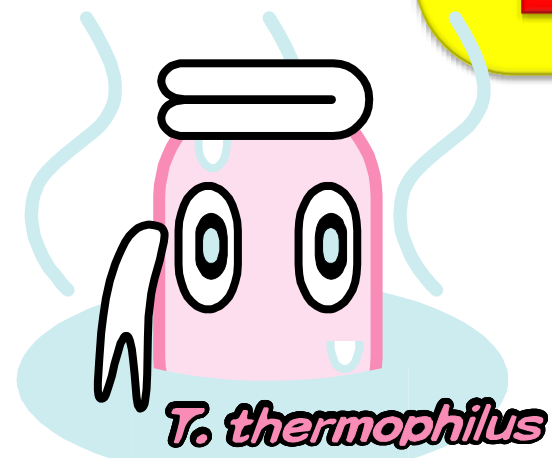
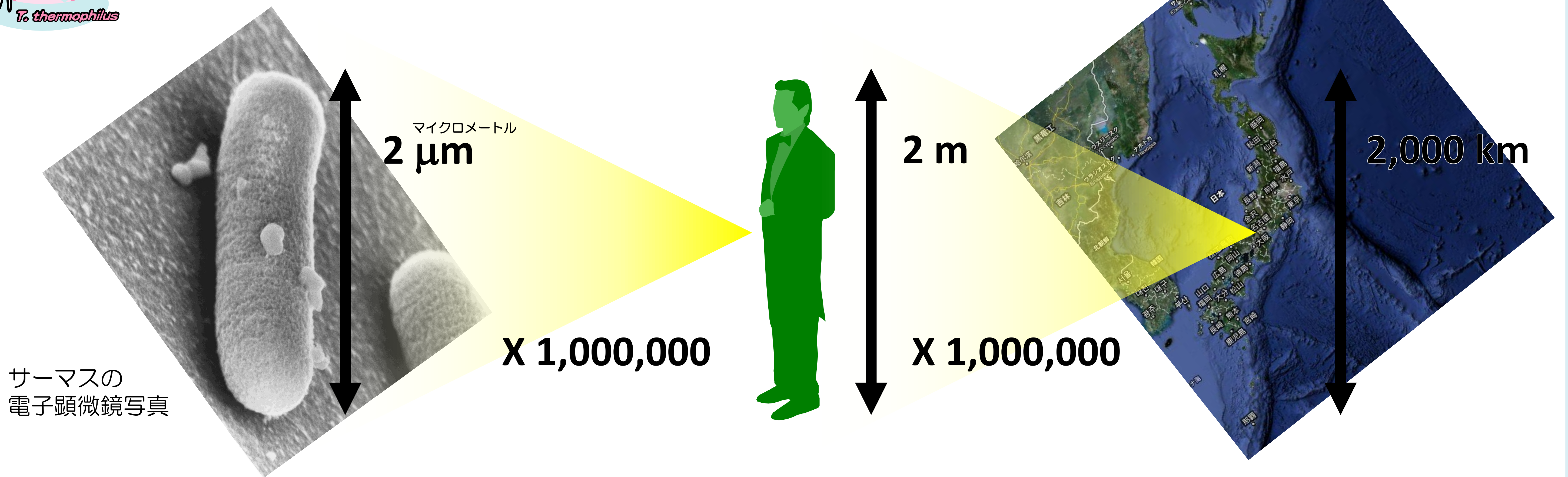


サーマスくんって何だろう？



サーマスはどのくらいの大きさ？



サーマスにとっての人間と、人間にとっての日本は同じくらいの大きさだ。



サーマスはどこにいるの？

サーマスは1968年、大島泰郎博士によって日本の温泉から発見された。今では世界中の研究室でつかわれている。



サーマス発見の地 静岡県河津町の峰温泉の源泉



サーマスは何がすごいの？

人間はふつう、体温が 40℃ 以上になると死んでしまう。体を作っているタンパク質がこわれて、ゆで卵の白身みたいになってしまうからだ。人間だけじゃなくてほとんどの生物は高い温度にたえられない。でも、サーマスなどの好熱菌は、ふしぎなことに^{あつ}熱いところ^すが好きで、サーマスは 85℃ でも元気に生活できる。

Thermus can stand high temperatures.



どうしてサーマスを研究するの？

サーマスは「遺伝子の数が少ない」「タンパク質の構造解析がしやすい」「遺伝子操作の実験ができる」などのたくさんの研究にむいた特徴をもっている。

また、好熱菌は、進化系統樹の根本にあつまっているので、全生物の起源に近い生物ではないか？とされている。

サーマスを全生物の代表として研究すれば、どの生物にも共通する基本法則を効率よく見つけることができる。

全生物の進化系統樹

